

少額短期保険  
ハウスガード

手間が掛からず、完全。ペーパーレス

# SMS活用した保険申し込みの仕組み

大東建託グループの少額短期保険ハウスガードは、賃貸住宅入居者向けの「賃貸住宅入居者あんしん総合保険(新リハップカード)」について、SMS(ショートメッセージサービス)を活用した保険申し込みの仕組みを開発し、業界に先駆けて運用を開始した。従来のスマートフォン申し込みでは、保険申込案内書に印字したQRコードを顧客がスマートフォンで読み取り、ログインする方式だったが、代理店から顧客のスマートフォンに送信されたSMSのURLをタッチすることで、簡単にログインできるようになった。これにより、書面は一切不要で、また賃貸契約のIT活用による重要事項説明を行う際に、保険申し込みについて、顧客は不動産会社代理店に向くことなく、SMS受信時に保険申し込みの手続きを完了させることが可能となる。

SMS活用保険申込ス 理店が顧客のスマートフォンにSMSを送信し、顧客はスマートフォンは、不動産会社代 オンに保険申込案内のSMSをタッチする画面に表

示されたURLからログインし、保険申し込みの手続きを行うという仕組み。

顧客はQRコードを読み取る必要がなく、受信したSMSのURLをタッチするだけで、簡単に手続き画面を表示することができ。また、顧客は、不動産会社代理店に向かなくても、保険申し込みの手続きを完了させることが可能になる。

不動産会社代理店は従来、パソコンからQRコードを表示した保険申込案内書を印字し、顧客に手交する必要があるが、新方式ではパソコンから直接、顧客にSMSを送信するため、手間が掛からず、かつ完全ペーパーレスとなる。

同社では、今回のSMSを活用した保険申し込みの仕組みの運用開始に併せて、保険料をクレジットカードで払い込む場合の手続きについて、スマートフォン申込システムの機能を向上させた。2017年4月から開始したスマートフォン申

込システムでは、保険申込手続き完了後にクレジットカード決済サイトへ遷移し、決済の手続きを行っていたが、今後は保険申込手続きのプロセスでクレジットカード決済も行うことで、入力項目を削減し、簡素化した。なお、同社が17年6月に販売を開始した新リハップカードは、新契約件数が累計で5万件を超えているという。

同社は、今後も「お客さまファースト」の実現を目指して、商品・サービス等の向上に取り組んでいくとしている。